

製品安全データシート

会社情報（発売元）	会社名	プリマハム株式会社
	住所	茨城県土浦市中向原 635
	担当部門	基礎研究所
	電話番号	029-842-4333
	FAX 番号	029-842-5216
	作成日	2010年12月1日

製品名（化学名、商品名等）	アレルゲンアイ® イムノクロマト シングルステップ 牛乳（ホエイ）【未加熱】
Kit の構成	(A)：検体希釈液 (B)：テストストリップ

危険・有害性の要約

危険有害性情報	: データなし
有害性	: データなし
環境影響	: データなし
物理的及び化学的危険性	: データなし
GHS 分類	: 分類できない

応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の水および石鹼で洗い流す。症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で 15 分以上洗眼したのち、直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。直ちに医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行なう者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、皮膚に付着させたり、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 火気厳禁とし、漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させ空容器に回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 火気厳禁。
目および皮膚への接触を避ける。
- 注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- 安全取扱い注意事項 : 目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 技術的対策 : 換気の良い場所で容器を密閉し保管する。
- 混合禁止物質 : データなし
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

- 管理濃度 作業環境 : 設定されていない
評価基準

- 許容濃度 OSHA PEL : 設定されていない
ACGIH (TLV) : 設定されていない
日本産業衛生学会 : 設定されていない

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型)
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣

物理的及び化学的性質

- 形状 : (A)液体
- 色 : (A)無色透明
- 臭い : (A)無臭
- pH : (A)6.8
- 融点 : データなし
- 沸点(初留点) : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 爆発範囲(上限・下限) : データなし
- 密度 : データなし

安定性及び反応性

- 安定性 : データなし
- 危険有害反応可能性 : データなし
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 危険有害な分解発生物 : 一酸化炭素、

有害性情報有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷 ・刺激性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし

環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし

廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却法 ・可燃性溶剤と共に、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。 これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

輸送上の注意

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
船舶安全法（危規則）	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当

その他（記載内容の問合せ先、引用文献等）

- ・引用 原料試薬供給先から提供された MSDS 等
-

* 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

* 本データシートは情報を提供するものであって、記載内容を保証するものではありません。